

第2回課題 節電対策について



課題はアンケート形式です。Excelの各項目の回答欄に記入してください。項目は各館の対応状況を記入する実態調査と、各自の意見やアイデアを書く2項目に分けています。従って、同じ大学から参加されている場合も各自が提出してください。記入欄に書ききれない場合は、セルを広げても構いませんが、要点をまとめて記入してください。

提出はL-ラーニング「大学図書館員のためのリポジトリ」にアップしてください。

<http://www.l-learning.jp/xoonips/>

1. Excelに記入後、ファイル名を「2011課題1_〇〇大名前」として保存 例：2011課題1_丸抜大高野.xlsx
2. 各項目は下記のように登録

itemタイプ：file

タイトル：2011研修分科会節電対策アンケート（〇〇大・名前）

関連アイテム：質問項目3.に記入したファイルを別途登録し、ここに記入

提出期限：6月30日（木）

★7月1日～6日の間に他の会員のファイルを、各自ダウンロードして当日持参してください。

当日、名札もお忘れなく！



IAAL事務局 連絡先

170-0004東京都豊島区北大塚1-19-12

TEL: 03-5961-3401 FAX: 03-5944-5087

E-mail: info@iaal.jp

IAAL緊急連絡先（携帯番号）

090-9100-0387



日時：

2011年7月7日（木・七夕）13時～17時

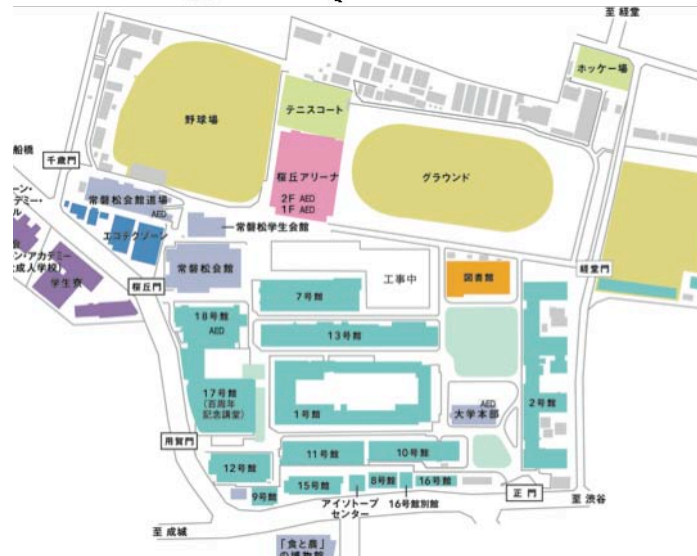
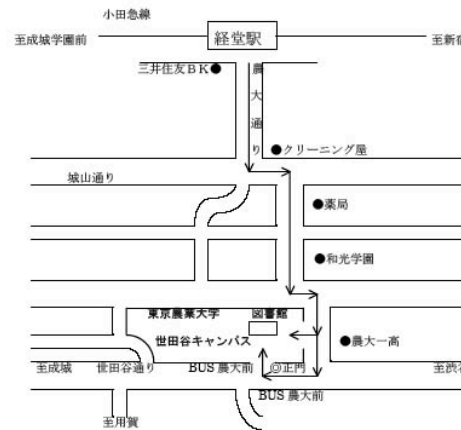
会場：

東京農業大学世田谷キャンパス 図書館4階視聴覚ホール

世田谷キャンパスへのアクセスは下記のサイト参照

http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html

- ※ 小田急線経堂駅より徒歩 15分
- ※ 田園都市線用賀駅よりバス 7分（世田谷区民会館行き農大前下車）
- ※ 渋谷駅よりバス 30分（成城学園前行き、祖師ヶ谷大蔵駅行き農大前下車）



2011研修分科会

第2回

私立大学図書館協会 東地区研究部 研修分科会

第3期 2011年度

<http://www.jaspul.org/e-kenkyu/el-ken-b/index.html>



2011第1回機関リポジトリ

阿部潤也氏講演

Time table

第2回 2011. 7. 7	
時間	内容
13:00-15:30	大学図書館間の連携について (講演と質疑応答)
15:30-15:45	ティーブレイク
15:45-16:30	節電対策を考える (グループ討議)
16:30-16:55	東京農業大学図書館新館建築計画 (事例報告)
16:55-17:00	事務連絡

進行について、多少時間が前後することがあります。



資料 当日の講演資料は、1週間前にPDFファイルで配布します。各自印刷して持参してください。紙では用意しませんので、忘れないよう気をつけてください。



追加メニュー：第1回、第2回の会場をご提供いただく東京農業大学図書館では、現在新館建築を計画されています。せっかくの機会ですので、会員の畑川さんに経験談をお話しいただこうと思います。

Themes1

講演と質疑応答

大学図書館コンソーシアム連合

(JUSTICE)の設立と今後の活動について

講師：守屋文葉氏（国立情報学研究所 学術基盤推進部 図書館連携・協力室 係長）

2010年10月に「大学共同利用機関法人・システム研究機構国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会との間における連携・協力の推進に関する協定書」が締結されました。これに基づき、2011年4月に発足したのがJUSTICEです。今回はJUSTICE事務局としてご活躍の守屋氏に標記演題でご講演をお願いします。

JUSTICEは今一番ホット！な話題ですが、大学図書館間の連携は様々な場面でこれまでも行なわれてきました。歴史的には共同分担目録、相互貸借、資料保存、研修等々、1館1大学では解決が難しい問題を新たな枠組みで協力しあってきました。図書館間の連携への関わり方は、目的や規模によって異なりますが、各館がどう主体的に共同していくかについては、館員一人一人の考え方とマネジメント力によって差がでてきます。

館内で解決できることか、連携のメリットは何か等を把握し、どのように実行するかを講演から吸収していただければと思います。

Themes2

グループ討議

節電対策を考える

今回のテーマは、この夏の停電が危ぶまれることもあります。原子力発電に頼った電力供給の生活ベースを変える、危機管理体制を見直すなど、**3.11を意識改革の原点**としてとらえ、みんなで図書館サービスと節電対策について考えてみたいと思います。

グループ討議は往々にして各館の情報交換で大半の時間を使ってしまうことがあります。討議の成果をあげるには、情報交換は事前課題で目を通したという前提で、解決策を話しあえるように進めましょう。

このテーマの元に、危機管理についての組織的な対応について、各対応策の問題点、節電対策の新たなアイデア等、グループ毎に問題を絞ってディスカッションし、その成果を全体に発表してもらいます。

今後の開催予定

第3回 夏季見学ツアー 見学先と日程を調整中です。8月中を予定しています。具体的な日時は決まり次第、メーリングリストでお知らせします。

第4回 9月22日（木） 当初9月29日を予定していましたが、当方の都合で変更をお願いしました。ご了承ください。